

| | |
|---------------------|--|
| 第3回がん検診事業の評価に関する委員会 | |
|---------------------|--|

| | |
|-----------|-----|
| 平成20年2月4日 | 資料5 |
|-----------|-----|

資料5：がん検診関係資料

「がん対策推進基本計画」(抜粋) がん検診に関する目標

- ◆ がん検診の受診率について、欧米諸国に比べて低いことも踏まえ、効果的・効率的な受診間隔や重点的に受診勧奨すべき対象者を考慮しつつ、5年以内に50%以上（乳がん検診、大腸がん検診等）とすることを目標とする。
- ◆ また、すべての市町村において、精度管理・事業評価が実施されるとともに、科学的根拠に基づくがん検診が実施されることを目標とする。

1

市町村事業におけるがん検診の概要

| 種 類 | 検 査 項 目 | 対象者 | 受診間隔 |
|--------|---|-------|-------|
| 乳がん検診 | 問診、視診、触診、 乳房エックス線検査(マンモグラフィ) | 40歳以上 | 2年に1回 |
| 子宮がん検診 | 問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診 (有症状者は、まず医療機関の受診を 勧奨。なお、希望する場合には子宮頸 部の細胞診に引き続き子宮体部の細胞 診を実施。) | 20歳以上 | 2年に1回 |
| 大腸がん検診 | 問診、便潜血検査 | 40歳以上 | 年1回 |
| 胃がん検診 | 問診、胃部エックス線検査 | 40歳以上 | 年1回 |
| 肺がん検診 | 問診、胸部エックス線検査、 喀痰細胞診 | 40歳以上 | 年1回 |

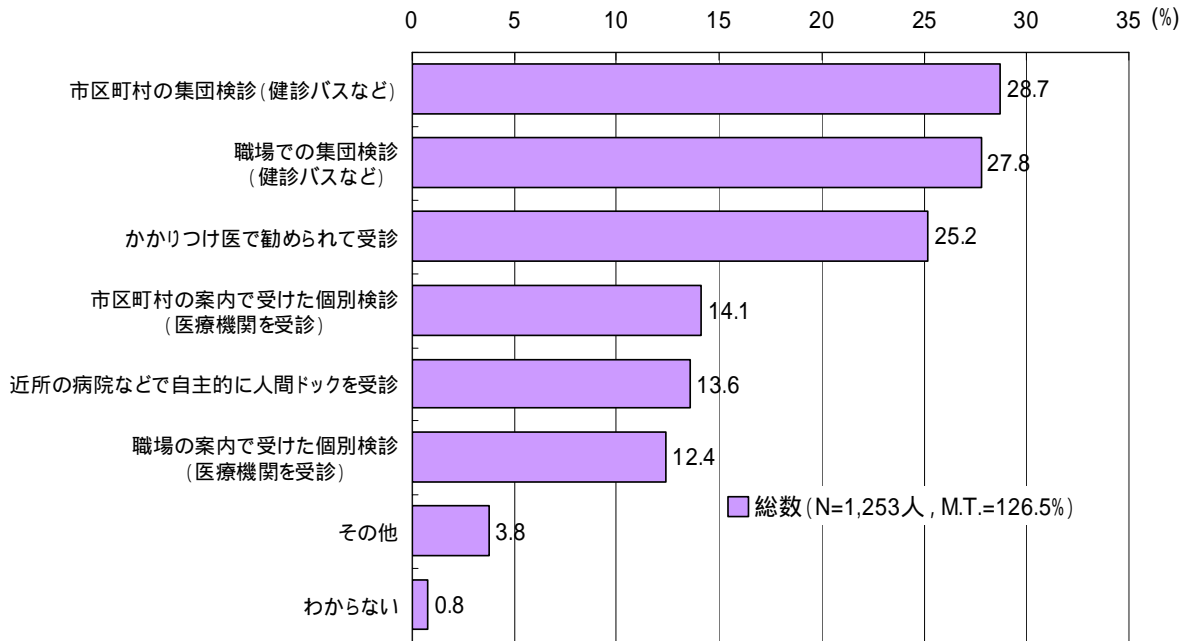
がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針(平成10年3月老人保健課長通知)に基づき実施されているもの

2

がん検診の受診場所

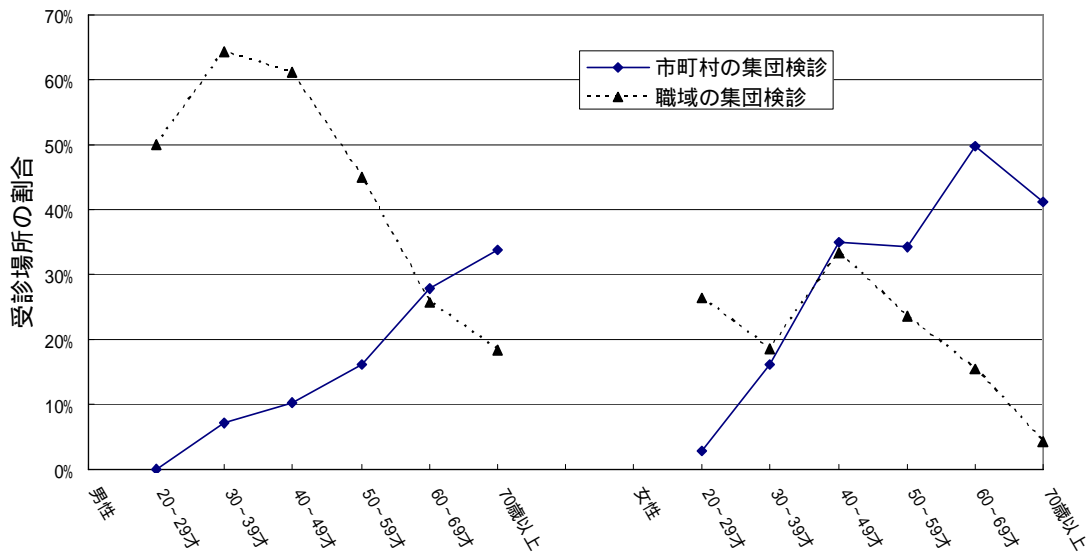
がん検診の受診場所

一度でも何らかのがん検診を受診された者に、複数回答



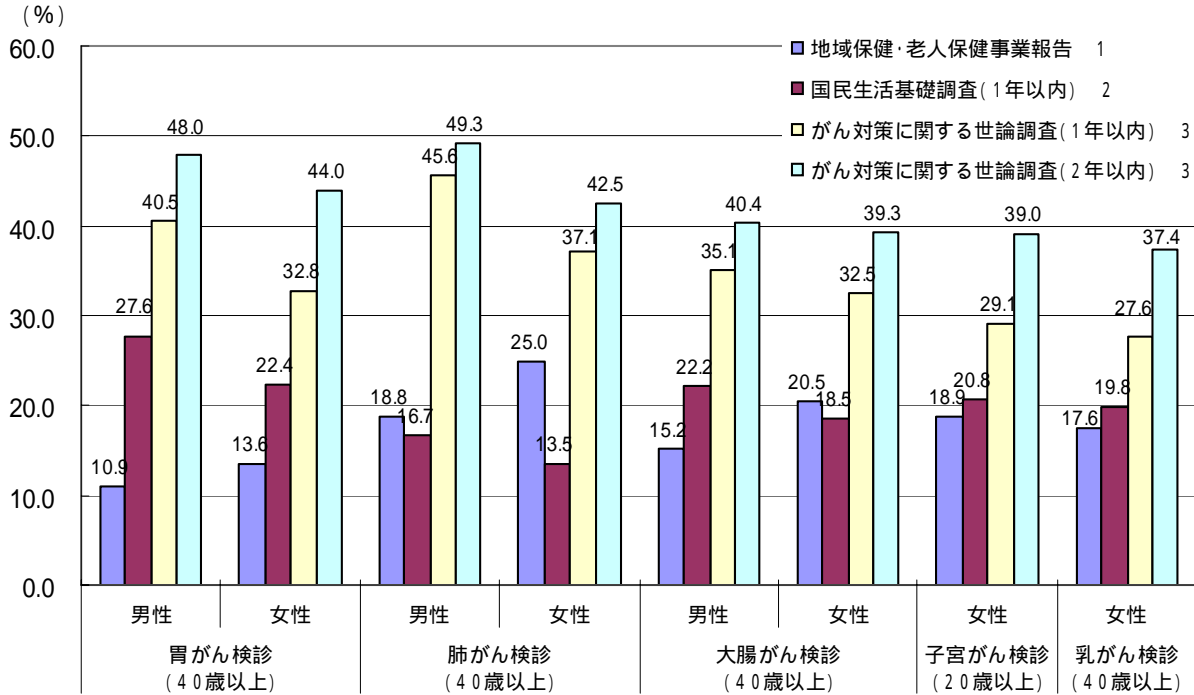
出典: がん対策に関する世論調査 (内閣府大臣官房政府広報室調べ)

がん検診の受診場所 (性別・年齢階級別、集団検診)



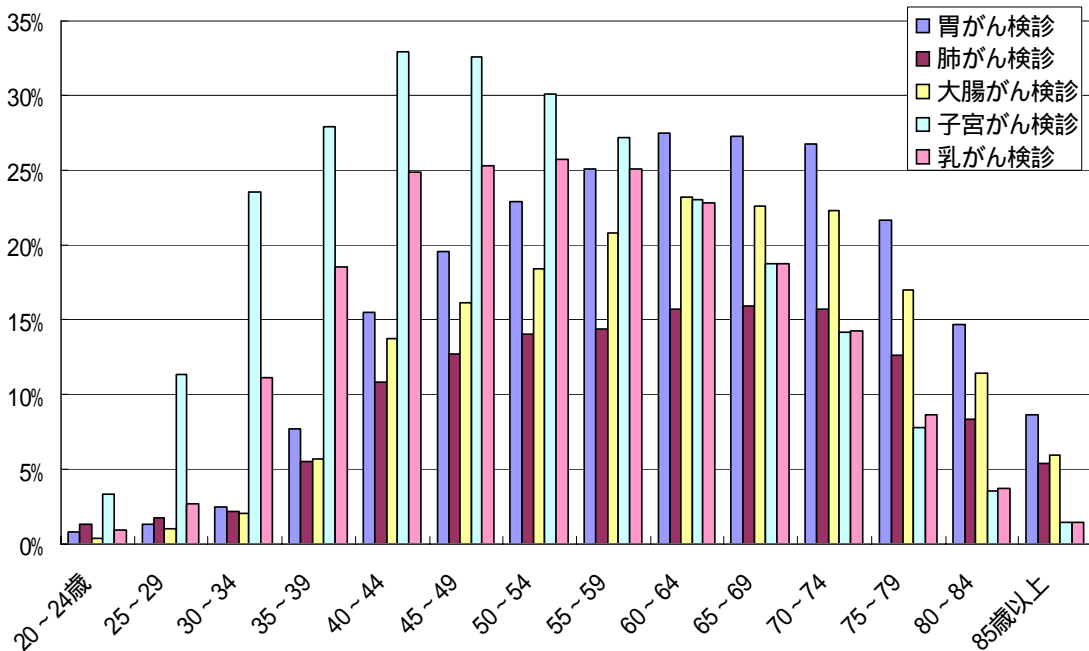
出典: 「がん対策に関する世論調査」(平成19年9月内閣府) 一度でも何らかのがん検診を受診した者の回答 (複数回答)

調査別がん検診受診率



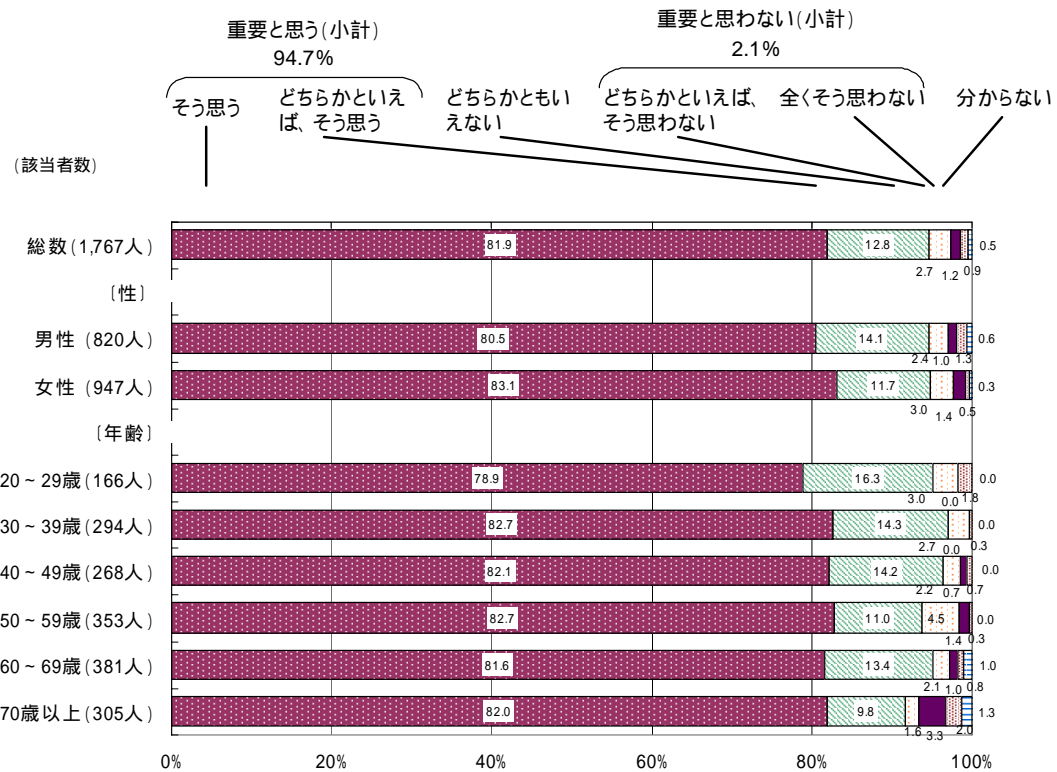
- 1:平成17年度地域保健・老人保健事業報告(厚生労働省大臣官房統計情報部調べ)より、子宮がん・乳がんについては2年以内、それ以外については1年以内
- 2:平成16年度国民生活基礎調査に基づき計算(健康票第2巻第34表より「総数」を母数とし、健康票第2巻第4表よりがん検診受診状況を分子として用いた)
- 3:平成19年9月がん対策に関する世論調査(内閣府大臣官房政府広報室調べ)より

年齢階級別がん検診受診率(女性)



平成16年国民生活基礎調査から推計
(健康票第2巻第34表 / 健康票第4巻第16表)

がん検診の関心度

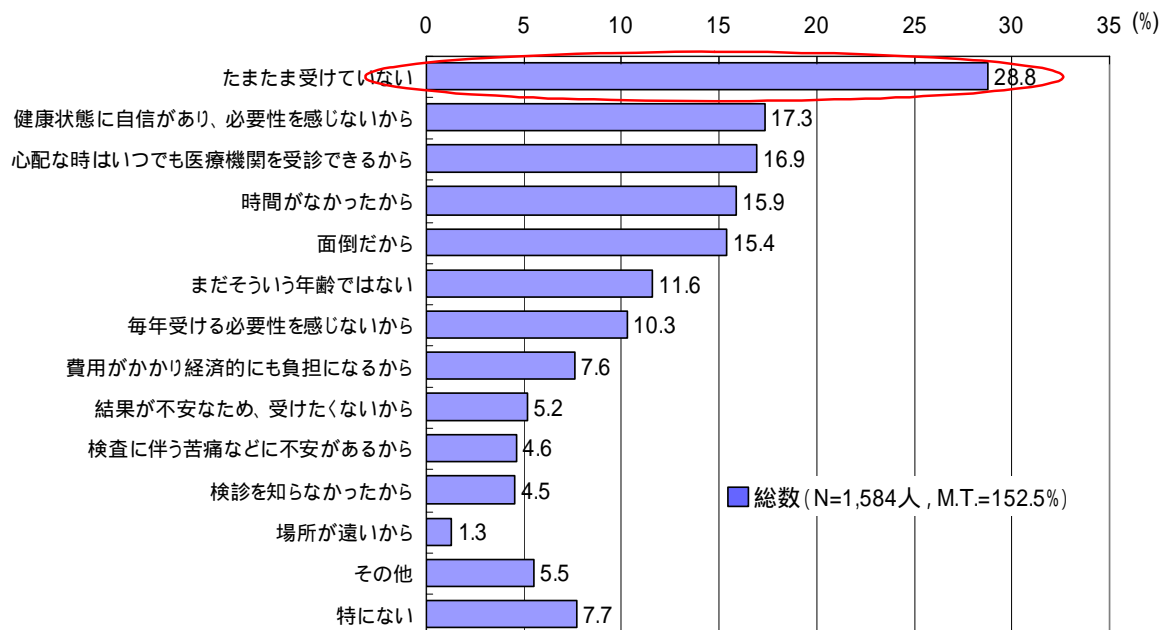


7
出典: がん対策に関する世論調査(内閣府大臣官房政府広報室調べ)

がん検診 未受診の理由

最近、未受診の理由

がん検診を「2年以上前に受診」、「今まで受けたことはない」と答えた者に、複数回答

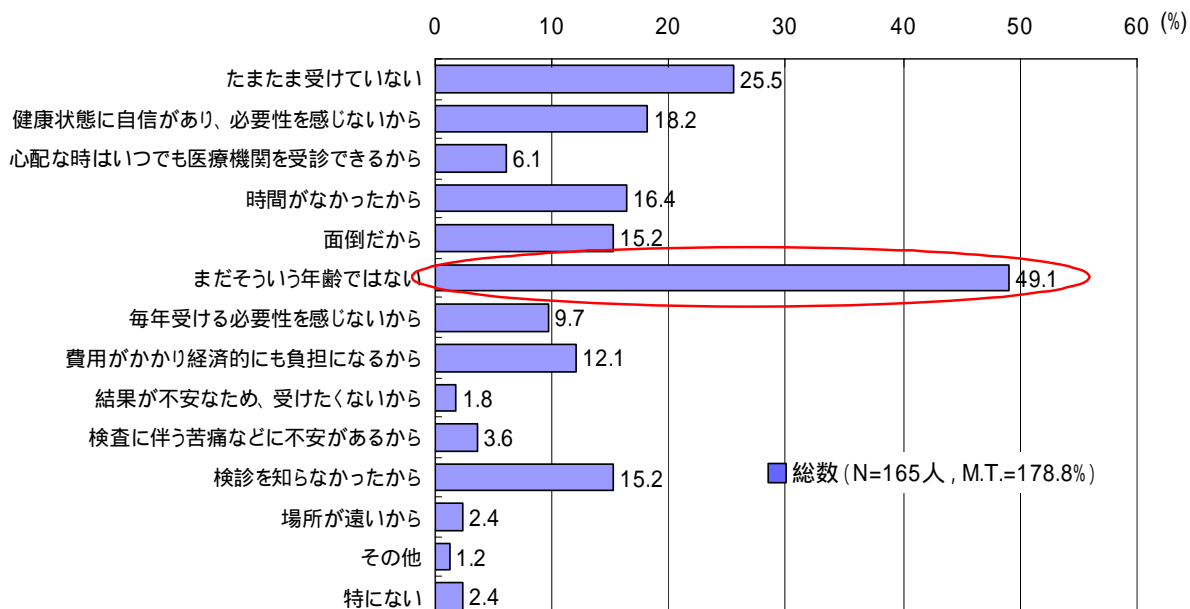


出典: がん対策に関する世論調査(内閣府大臣官房政府広報室調べ)

年齢階級別 がん検診 未受診の理由

最近、未受診の理由
(20～29歳)

〔がん検診を「2年以上前に受診」、「今まで受けたことはない」と答えた者に、複数回答〕

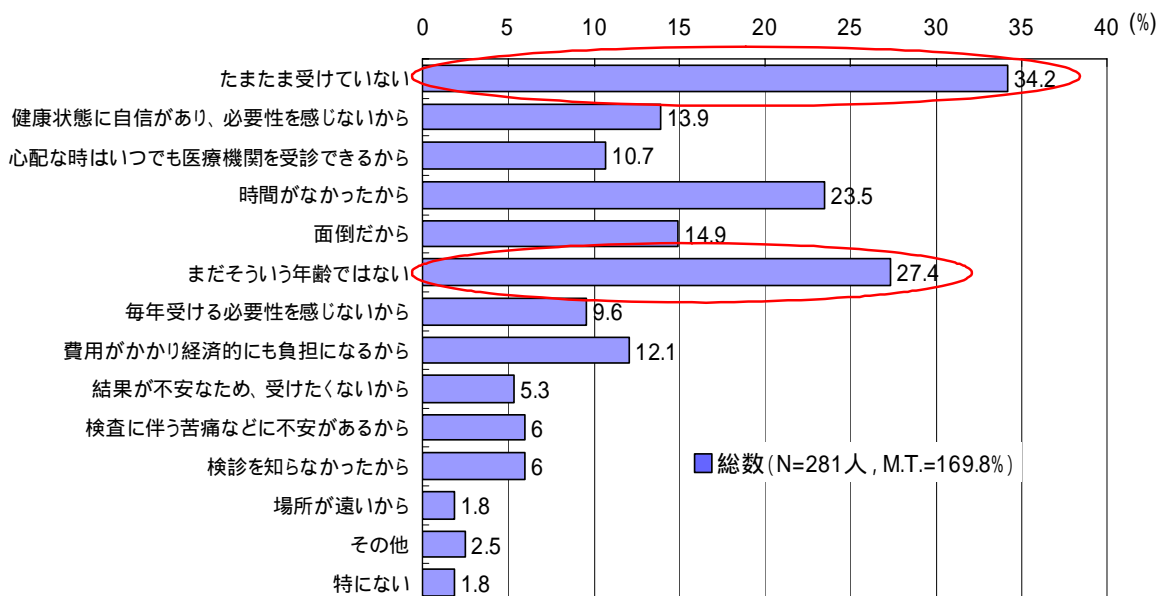


出典: がん対策に関する世論調査 (内閣府大臣官房政府広報室調べ)

年齢階級別 がん検診 未受診の理由

最近、未受診の理由
(30～39歳)

〔がん検診を「2年以上前に受診」、「今まで受けたことはない」と答えた者に、複数回答〕

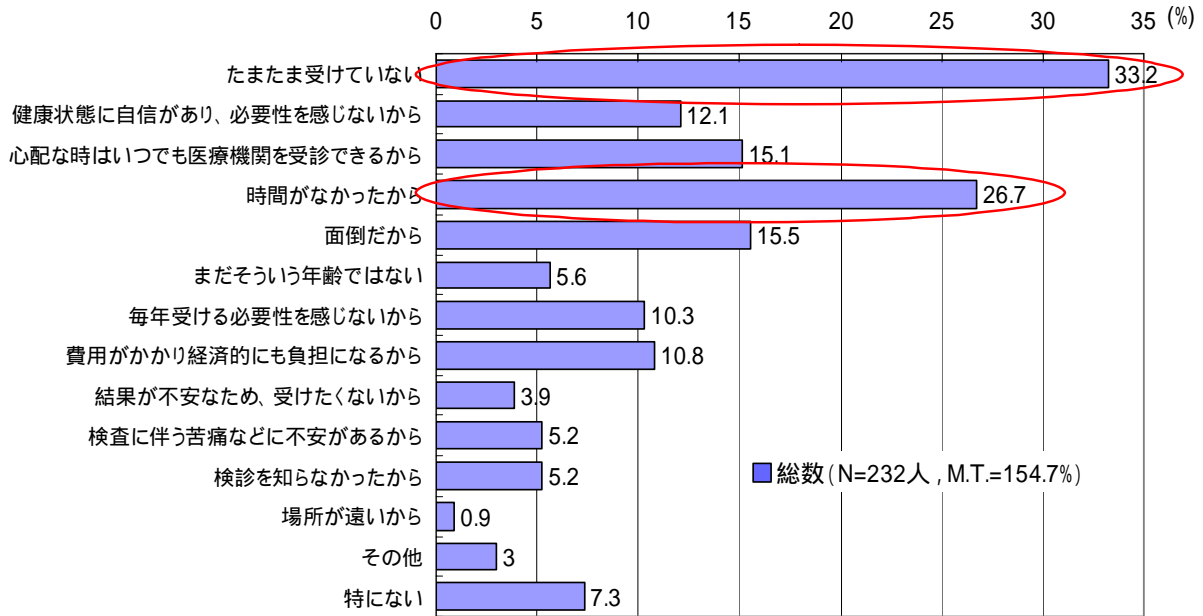


出典: がん対策に関する世論調査 (内閣府大臣官房政府広報室調べ)

年齢階級別 がん検診 未受診の理由

最近、未受診の理由
(40～49歳)

「がん検診を「2年以上前に受診」、「今まで受けたことはない」と答えた者に、複数回答

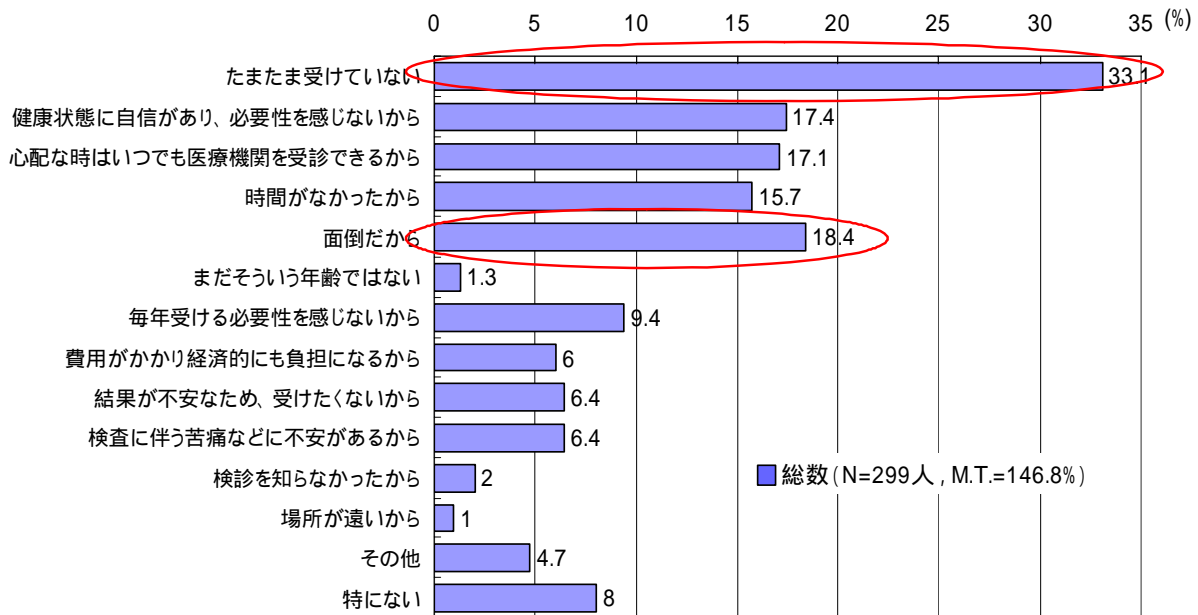


出典: がん対策に関する世論調査 (内閣府大臣官房政府広報室調べ)

年齢階級別 がん検診 未受診の理由

最近、未受診の理由
(50～59歳)

「がん検診を「2年以上前に受診」、「今まで受けたことはない」と答えた者に、複数回答

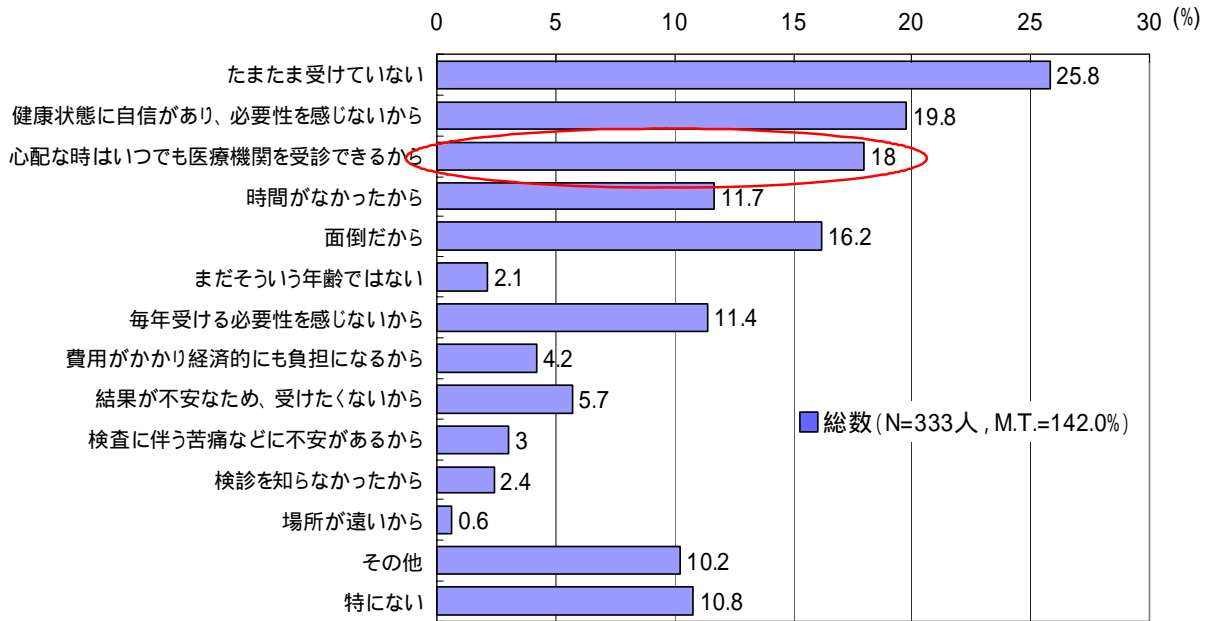


出典: がん対策に関する世論調査 (内閣府大臣官房政府広報室調べ)

年齢階級別 がん検診 未受診の理由

最近、未受診の理由
(60～69歳)

「がん検診を「2年以上前に受診」、「今まで受けたことはない」と答えた者に、複数回答

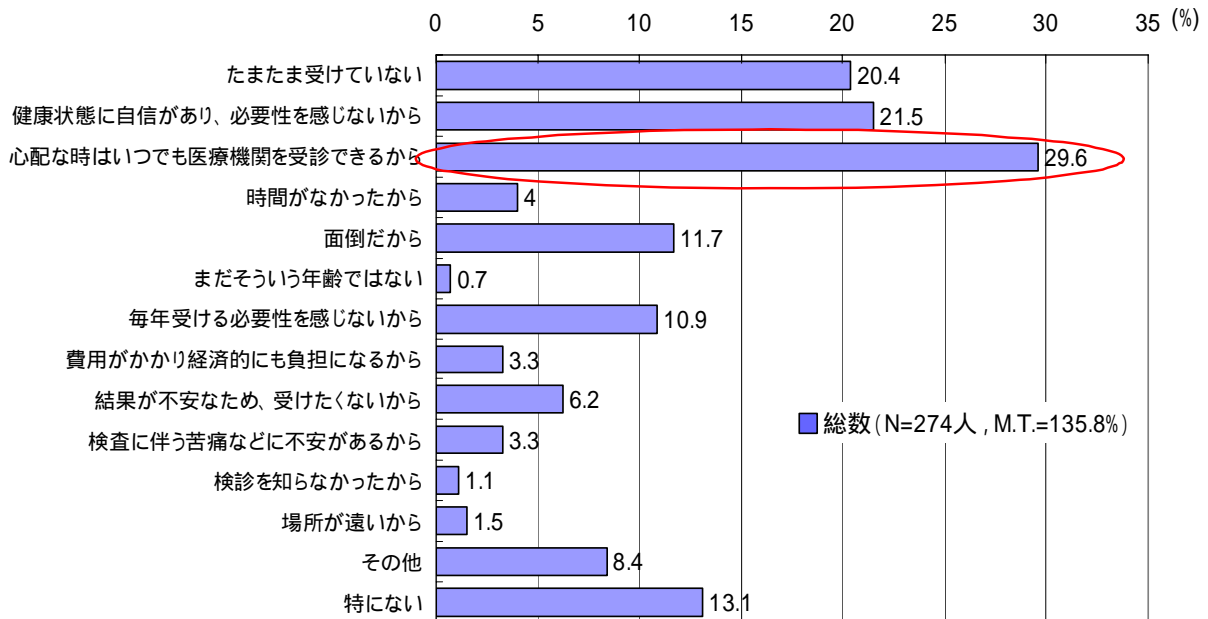


出典: がん対策に関する世論調査(内閣府大臣官房政府広報室調べ)

年齢階級別 がん検診 未受診の理由

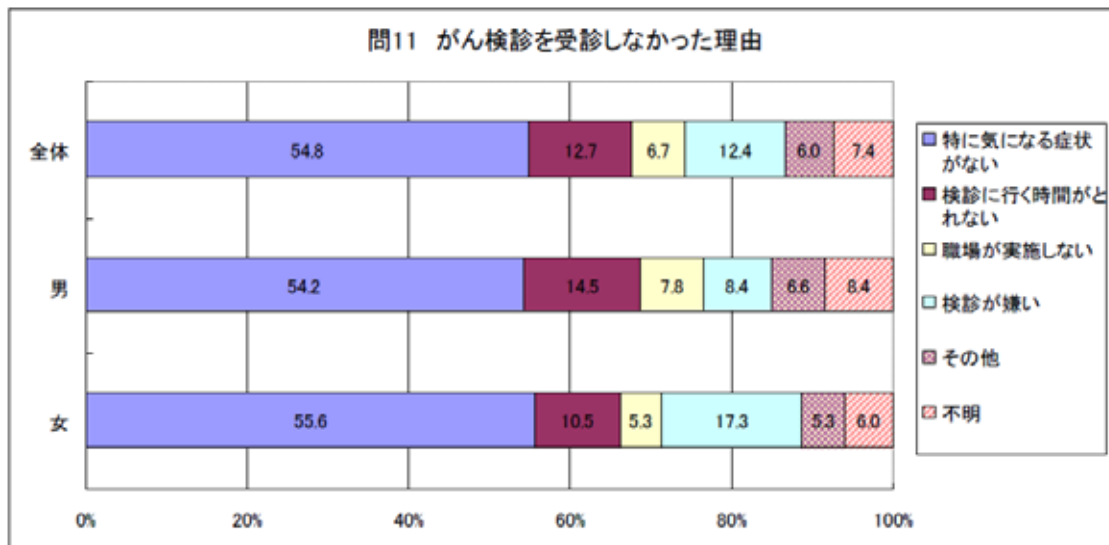
最近、未受診の理由
(70歳以上)

「がん検診を「2年以上前に受診」、「今まで受けたことはない」と答えた者に、複数回答



出典: がん対策に関する世論調査(内閣府大臣官房政府広報室調べ)

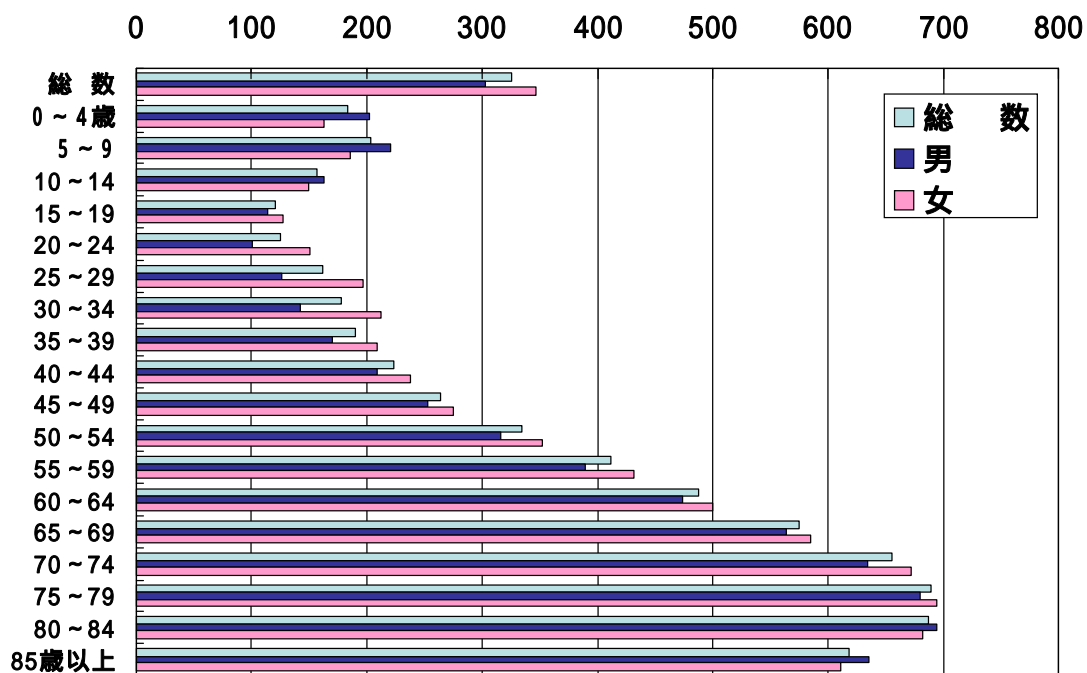
佐賀県の調査結果によるがん検診を受診しない理由



出典:「平成19年度がん予防県民意識調査報告書」平成19年12月 佐賀県健康福祉本部健康増進課

15

年齢階級別の通院率



出典:平成16年国民生活基礎調査(第2巻71表)

(人口千人あたり)

16

自治体におけるがん検診対象者数の算定方法

| N=607 | 自治体数 | % |
|-----------------|------|-------|
| 全数把握 | 115 | 18.9% |
| 過去(現在) の調査を基に算出 | 66 | 10.9% |
| 都道府県で決められた方法 | 73 | 12.0% |
| その他の算出方法 | 333 | 55.7% |
| 合計 | 592 | 97.5% |

平成18年度 厚生労働省「がん検診の受診率向上に向けた有効な手段の開発に関する研究」

17

EUのマンモグラフィの精度管理数値目標

European guidelines for quality assurance in breast cancer screening and diagnosis,
4th ed. 2006

| 精度管理(プロセス)指標 | | 許容レベル | 推奨レベル |
|----------------|----------|----------|-------|
| 対象者中の受診率 | | > 70% | > 75% |
| 要精検率 | 初回 | < 7% | < 5% |
| | 2回目以降 | < 5% | < |
| 乳がん発見率 | 3% 初回 | 罹患率の3倍 | それ以 |
| | 上 | 罹患率の1.5倍 | それ以上 |
| 検診外発見例の割合 | 1年以内 | 罹患率の30% | それ以下 |
| | 1 - 2年 | 罹患率の50% | それ以 |
| 進行がん割合 | 下 初回 | / | < 30% |
| (stage 以上) | 2回目以降 | 25% | < |
| | 25% | | |
| 10mm以下の浸潤がんの割合 | 初回 | / | 25% |
| | 2回目以降 | 25% | 30% |

罹患率: 検診が実施されない場合の期待罹患率

18

市における事業評価の取組状況

検診実施機関への事業評価の状況

精度管理指標の評価

| N=607 | 自治体数 | % |
|--------|------|--------|
| 行っていない | 318 | 52.4% |
| がん発見率 | 191 | 31.5% |
| 偽陽性率 | 67 | 11.0% |
| 陽性適中度 | 99 | 16.3% |
| その他 | 32 | 5.3% |
| 合計 | 707 | 116.5% |

「事業評価のためのチェックリスト」の活用

| N=607 | 自治体数 | % |
|---------|------|-------|
| 知らない | 101 | 16.6% |
| 活用している | 144 | 23.7% |
| 活用していない | 308 | 50.7% |
| その他 | 19 | 3.1% |
| 合計 | 707 | 94.2% |

がん検診の受診率向上に向けた有効な手段の開発に関する研究(平成18年老人保健健康増進等事業)

調査対象:全市(781市)

調査時期:平成19年3月

回答:607市から回答あり(回収率77.7%)

19

市における事業評価の取組状況

検診実施機関の決定方法

| N=607 | 自治体数 | % |
|-----------|------|--------|
| 1) 一般競争入札 | 63 | 10.4% |
| 2) 随意契約 | 517 | 85.2% |
| 3) その他 | 41 | 6.8% |
| 合計 | 621 | 102.3% |

一般競争入札の場合

| | 自治体数 |
|---------------------|------|
| A 金額のみ考慮 | 38 |
| B 実績も考慮 | 11 |
| C 実績及びがん発見率などの精度も考慮 | 17 |
| 合計 | 66 |

がん検診の受診率向上に向けた有効な手段の開発に関する研究(平成18年老人保健健康増進等事業)

調査対象:全市(781市)

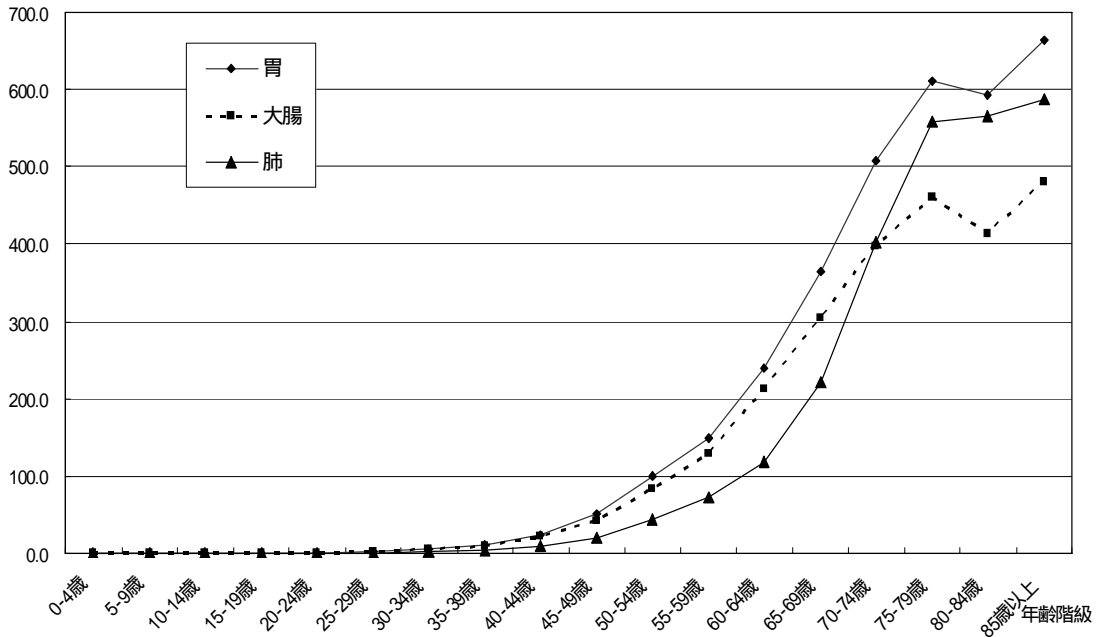
調査時期:平成19年3月

回答:607市から回答あり(回収率77.7%)

20

部位別・年齢階級別がん罹患率(男性、2001年)

人口10万対(人)

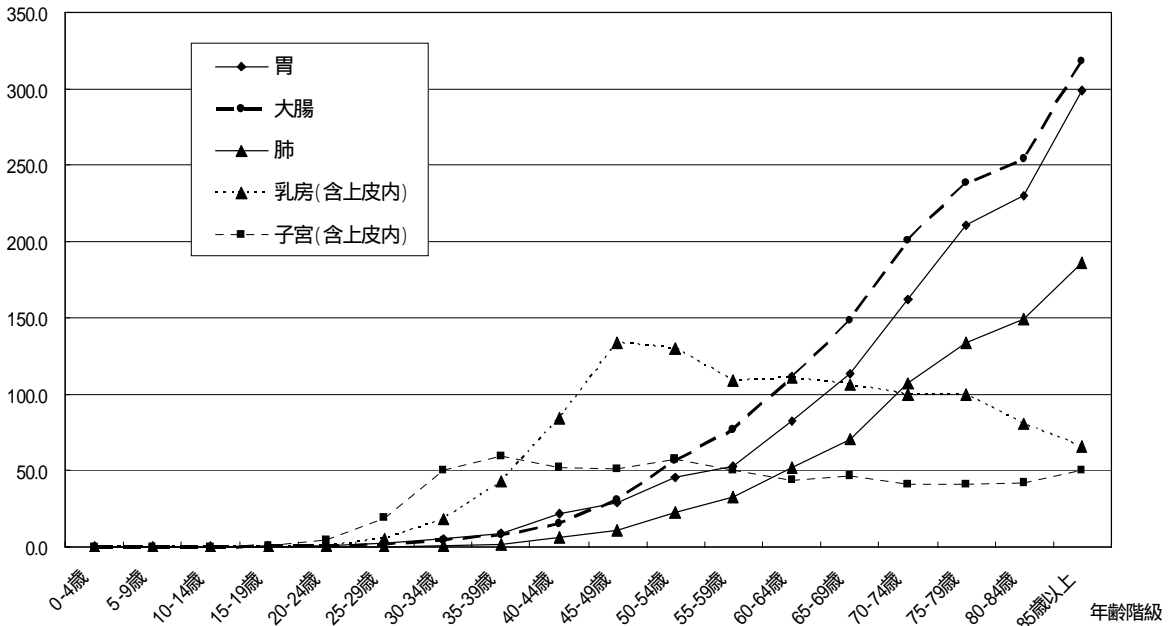


出典:厚生労働省がん研究助成金「地域がん登録」研究班の推計値

21

部位別・年齢階級別がん罹患率(女性、2001年)

人口10万対(人)

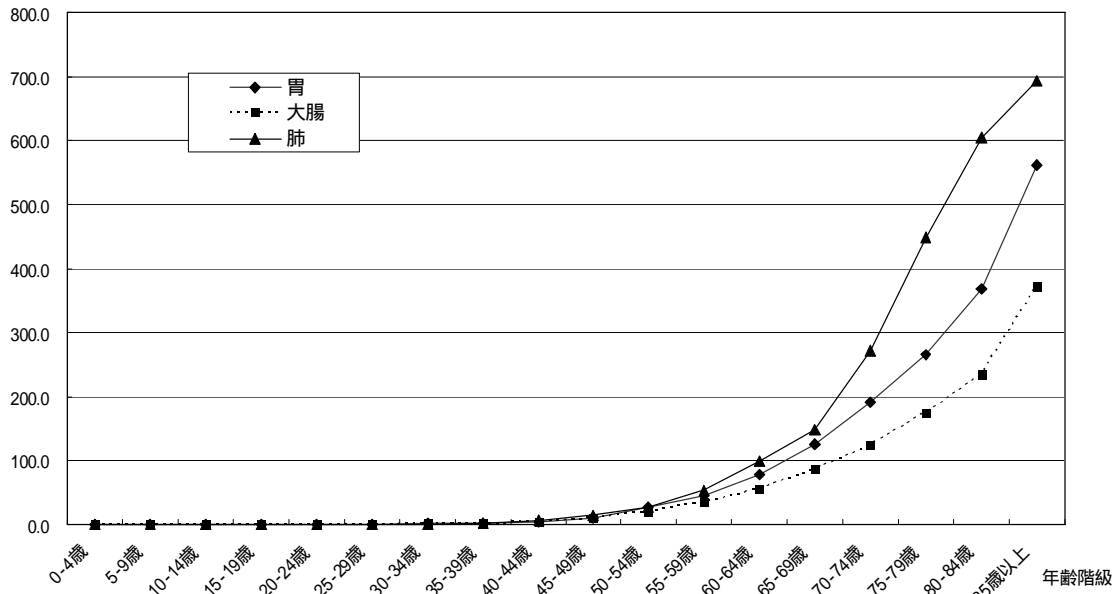


出典:厚生労働省がん研究助成金「地域がん登録」研究班の推計値

22

部位別・年齢階級別がん死亡率(男性、2005年)

人口10万対(人)

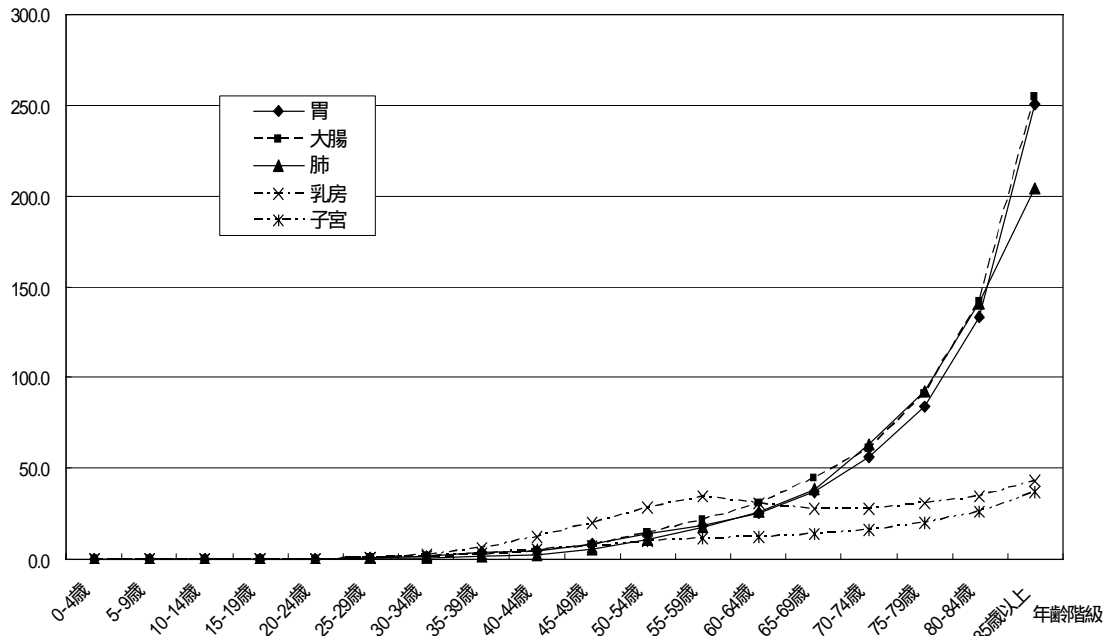


出典:人口動態統計

23

部位別・年齢階級別がん死亡率(女性、2005年)

人口10万対(人)



出典:人口動態統計

24